

ヒーローズ塾生のみなさん、保護者様方、こんにちは。

新学年です。とくに中学3年生、高校生3年生はいよいよ受験生です。なりたくなってしまった人はほとんどいないと思いますが、なってしまったものはしょうがありません。

中2までは成績というものは「勉強をする→あがる」「勉強をしない→さがる」というように、ある意味単純明快でした。ようはやればいいのです。ですが中3になると、勉強をしているのに成績が上がらないという現象が起き始めます。**その理由は、受験学年はみんな勉強するからです。**だからちょっと勉強しただけでは差がつかないのです。上に上がれないのです。勉強をしているわりに成績が上がらない生徒さんの特徴、それは言われたとおりのことしかしていないということです。逆に成績が上がる生徒さんの特徴はどうか。それは必ず自分なりのプラスαがあるということです。

具体的に言うと、前者はこんな感じです。例えば黒板に書かれた内容を一生懸命丁寧に写します。とてもカラフルで綺麗だったりします。でもそれだけ。それに対し後者は、例えば先生が板書せずに口でしゃべったことなどが欄外にメモってあったりします。自分で「ここがポイント」マークや「これがテストに出る」マークを作っていたりします。つまり自分なりの工夫、オリジナルがあるのです。

**勉強と言うものは他者から知識を得ることから始まります。**そして他者から知識を得たとき、それはまだその知識は自分のものになっていないのです。所詮、他社からの借り物の知識なのです。ほおっておけば抜けていくのです。では、それが本当の自分の知識になる時とはどんなときか、それはそこに自分の思考が存在する時なのです。問題を読んで、どこを工夫すればこの問題にも対応できるのかを考えるのです。そしてようやく答えにたどり着いたとき、必ず「ああ、そういう意味なのか」という実感を持つこと。これが本当に知識を自分のものにした瞬間なのです。

先生に言われたとおりにやってみた。でもできなかった。だからわからない。これが悪い勉強の仕方です。なまじ勉強をしている気になってしまうからタチが悪い。みんなは「わかる」ようにはなりません。でもその後で、実際に自分で悩み考えることで初めて「できる」ようになるのです。私たちは、悩むみんなへのサポートはいくらでもします。でもあくまでも悩み考えるのはみんな自身でなければならないのです。

受験生になる今年一年はとにかく自分でめいっぱい考えて悩んで勉強してください。どうしたらできるようになるのか、何をしたら自分にプラスになるのか、一生懸命、悩んでいると1時間なんてすぐたってしまう。学力が高い生徒さんほど勉強時間が長い所以です。

### 春期講習スタートです。3月21日(金)から4月4日(金)まで

21日から4月5日までは講習時間で授業を行っています。内容は予習先取りですすすめていますが、宿題は復習を単元を渡しています。とくに学校休み明けの課題テストは宿題での範囲が出題範囲となります。理解度が薄い単元は春休みの間につぶしていきましょう。

### 新学年春の岡山県模試のご案内

志望校の合格判定をしてみましょう。(当塾で行います。9時25分集合、受験料3,100円)

●新中学3年生は4月3日(木) ●新中学2年生は4月4日(金) ●新中学1年生は4月3日(木)の予定です。●中学受検適性試験4月5日(土)10時から11時45分までです。

新中3、2年生で予定日が部活などで難しい生徒さんをご相談ください。時間を調整します。

進行	開始	終了	
志望校記入	9時25分	9時30分	
国語	9時30分	10時15分	45分
数学	10時25分	11時10分	45分
社会	11時20分	12時05分	45分
休憩(昼食など)	12時05分	12時40分	35分
英語	12時40分	13時25分	45分
理科	13時35分	14時20分	45分

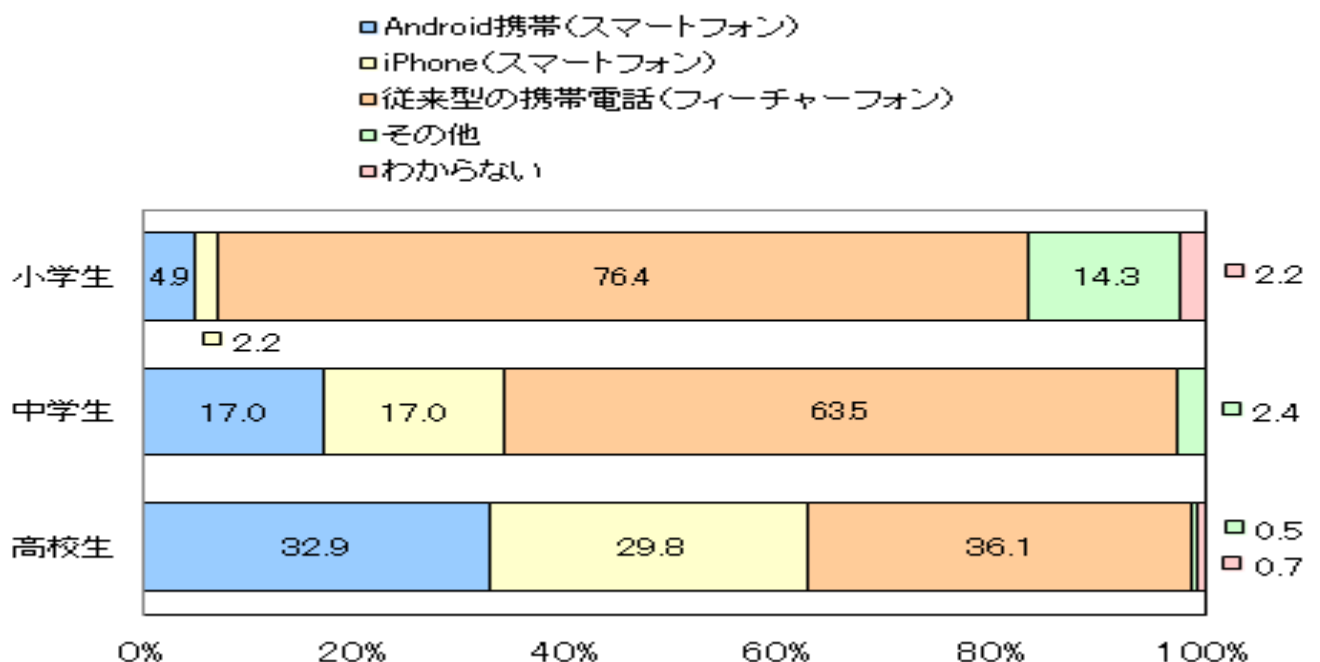
**3月31日(月)、4月5日(土)は通常授業は休校日です。**

暦の調整で(月4週計算)31日(月) <ただし、春期講習授業はあります。>、また4月5日(土)は午後より指導研修のため休校となります。ご理解をお願いします。土曜通常授業の生徒さんは振替をお願いします。

### 新中学3年生個別補習のお知らせ

新中学3年生の生徒さんで高校受験にあたり、授業進度が相当遅れている生徒さんは弊塾より、指名補習をさせていただきます。参加は自由ですが、塾としては原則参加をお願いします。個別にお知らせします。(補習ですので無料です。)

春の面談を3月4日から20日まで行いました。お忙しいなか、お時間を頂き、ありがとうございました。春期講習のご案内、とくに新中学3年生の生徒さんには今後の面談予定や土曜補習(無料)など受験までのスケジュールを各自、個別に提示させていただきました。またご質問では、スマホ関連が多かったように思います。今回はスマホについて一考……。塾としては、スマホは高校生から、義務教育期間の中学生は連絡用の携帯電話で十分という立場です。自分用の携帯電話・スマートフォンを所有している割合は高校生で約91.4%、中学生で47.0%、小学生で26.0%。スマートフォンだと、保有率は高校生で62.7%、中学生で34.0%、小学生で7.1%(下図)。(子供と教育文科省より)



ネット依存、ゲーム依存については、本当に教育に限らず深刻な問題になってきています。

**与える前に明確なルールを！** あくまでも理想論を述べるならば、最大の対策は「そもそも与えない」ことです。「そうは言っても、今の時代に与えないわけにはいかない」と思われる場合についても、与える前の段階で「明確にルールを決めて与える」ことが重要となります。しかし、現実にはそれをせずに与えてしまい、しばらく自由にさせた後で「取り上げる」「制限する」ようなやり方をしている例がほとんどです。もちろん、そういった後からルールを付け足したり、取り上げたりするようなやり方は「後出しジャンケン」のようなものですから、素直な生徒さんが相手でもうまくいきにくく、さらに反抗期の生徒さんともなれば、何らかの問題発生は必至でしょう。

そういう意味でも、ご質問が多かったのは、「与える前にどうすべきか」ではなく「**すでに与えてしまった場合に、いかに手放させるか**」が重要なテーマになってくると思います。

ちなみに、学校によっても違います。ある学校は校内へスマホなどは一切持ち込み禁止というところもあれば、全く未対応の学校まで様々です。現場では、おそらく「家庭学習や家庭内での生活まで踏み込まない」「家庭内のことは親の責任」と考えるのが主流ですから、仮に生徒がネットやゲームに依存していても、わざわざ家庭にまで踏み込んで手を打つようなことはしないでしょ。

**結論から言えば、ルールを決める。**

① **利用時間**→「1日●●時間まで。」「勉強中は使用しない。」「夜は●●時まで。」「テスト前●●期間は禁止。」などでしょうか。ただ、依存度が高くなると、夜に隠れて使うようになるケースもあります。約束したからと言って安心しすぎないことも必要です。よくあるのが「勉強中は使用しない。」これも勉強+休憩（使用）+勉強+休憩（使用）でいつも間にか使用がメインになり勉強時間の割合が少なくなってしまう、という本末転倒のお話も実際に弊塾の生徒さんでご相談がありました。その場合は夜は●●時以降は電源を切りリビングに置いておくという提案をしたことがあります。

② **フィタリングなどの利用制限**→携帯電話などはメールフィルタが厳しくできます。とくにサイトにより年齢制限などをかけることもできます。しかし、スマートフォンは制限が緩いです。たとえかけても抜け道がいくらかでもあるようです。（その手の専用のアプリもあります。）正体不明のメールやアプリなどはクリックしないことです。

③ **パスワード**→本体にパスワードをかけることは必須です。そしてそのパスワードは親は当然に知るべきです。実質の所有者ですので当たり前です。

④ **料金**→接続を従量制か？定額制か？通話料金は？など決めておく必要があります。契約によっては基本料金だけでも1万円近くするのもあり、お子遣いから一定額を出させることも教育上は有効でしょう。

⑤ **LINEのアプリ設定**→もっとも問題です。個人情報の流出もひどく、詐欺や危険な出会いに巻き込まれるなども社会問題化していることは周知のことです。初期設定は親も確認しておくべき。「アドレス帳を利用しない。友達選択自動追加者はOFF、友達への追加を許可OFF、ID検索の許可OFF」などなど。

⑥ **ルール違反の場合**→●●時間使用禁止などでもいいですが、没収や廃棄なども有り得ることを明言しておくべきでしょう。生徒さんは一度、スマホを手にするると自分のものと錯覚しますが、あくまで所有は親です。利用料金は親が働いて払ったものですから、感謝の気持ち、利用させもらっているという意識をもたせることも家庭教育のひとつです。いずれにしても親がサイトなどを閲覧すればびつくりするようなものも簡単にスマホで手に入れることができます。勉強がおろそかになる要因のひとつであることは間違いありません。よく言うのは試験前の勉強中にLINEが来る、だから集中できない。その場合は勉強中はやめようと返信すればいい、それでも送信される場合は本当の友人ではない、ただあなたの足を引っ張っているだけだ・・・と私も面談で言います。メールの返信が気になってしょうがない。ゲームのステージを早くクリアしたいなどの欲求が生まれともう受験勉強どころではありません。受験勉強よりも、それらの障害を取り除くことのほうが先決です。